昭和52年3月12日第三種郵便物認可

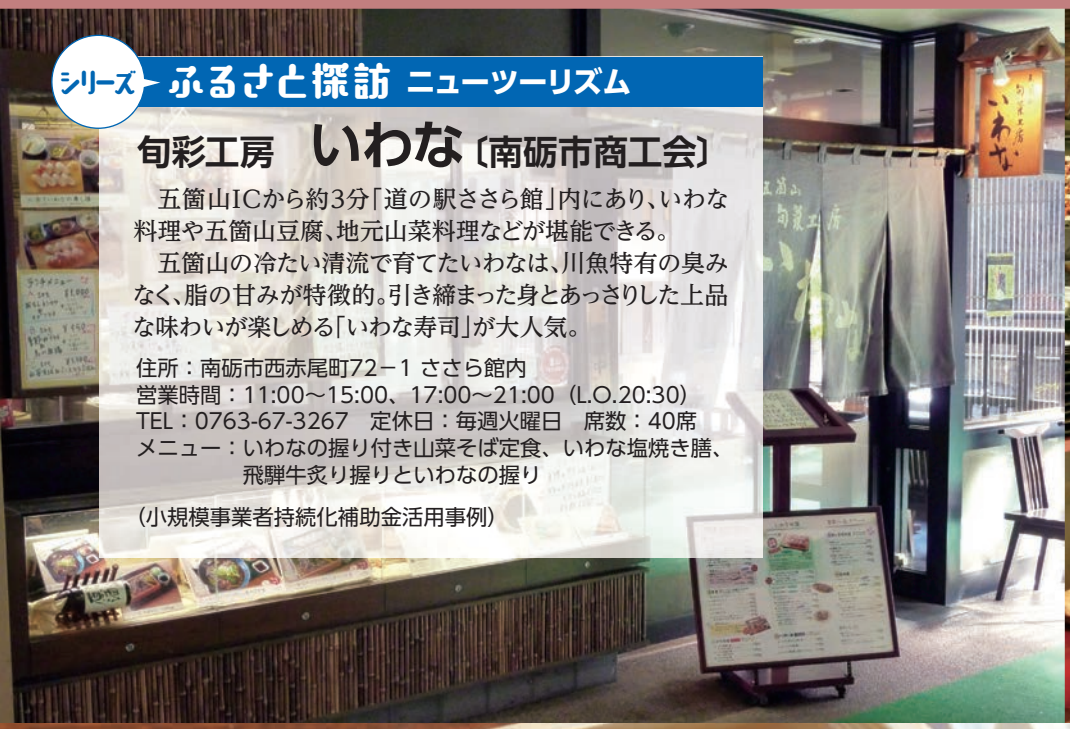
商工会 とやま

'20.1月
VOL.535

Contents

2 年頭のご挨拶
3 商工会年頭のご挨拶
4 新春対談
6 シリーズ知っ得こ～税務編～
7 県商工同友会セミナー・イベント情報
8 県商工ビジネス研究会視察研修会・
農商工連携フォーラム

発行日 令和２年１月１日（毎月１回１日発行）
定　価 一部50円
（商工会員にあっては購読料は会費に含まれています）
発　行 富山県商工会連合会（責任者／石澤義文）
〒930-0855　富山市赤江町1-7
TEL076-441-2716　FAX076-433-8031
URL https://www.shokoren-toyama.or.jp



シリーズ ふるさと探訪 ニューツーリズム

旬彩工房　いわな〔南砺市商工会〕

五箇山ICから約3分「道の駅ささら館」内にあり、いわな料理や五箇山豆腐、地元山菜料理などが堪能できる。

五箇山の冷たい清流で育てたいわなは、川魚特有の臭みなく、脂の甘みが特徴的。引き締まった身とあっさりした上品な味わいが楽しめる「いわな寿司」が大人気。

住所：南砺市西赤尾町72－1 ささら館内
営業時間：11:00～15:00、17:00～21:00（L.O.20:30）
TEL：0763-67-3267　定休日：毎週火曜日　席数：40席
メニュー：いわなの握り付き山菜そば定食、いわな塩焼き膳、
飛騨牛炙り握りといわなの握り

（小規模事業者持続化補助金活用事例）

年頭のご挨拶

富山県商工会連合会長
石澤義文

事業者に寄り添いながら、持続的発展を支援する

新年明けましておめでとうございます。令和二年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の富山県の景気は、生産の弱含みが見られるものの、緩やかな回復基調とされていますが、消費税率引上後の消費者マインドの動向に留意する必要があるとされています。商工会地域においては、過疎化や人口減少による地域内の消費の縮小、働き手や後継者の不足など、中小企業・小規模事業者にとっては、厳しい経営環境が続いております。

こうした中、昨年七月に行われた参議院選挙において、商工会組織内候補として再選を果たした宮本周司参議院議員等の政策提言により、中小・小規模事業者に対する国の支援は、右肩上がりとなっており、一筋の光明と言えるのではないかと思われます。

平成から令和という新時代となり、我々商工会は、令和時代の中小・小規模事業者の活躍に向け、事業者に寄り添いながら、質の高い支援を心がけ、事業承継支援を含め、地域内事業者の持続的発展を目標とし、その実行に資する行動を積み重ねることが必要と考えております。

我々商工会は昨年三月、商工会を取り巻く様々な課題解決の為に、「商工会行動計画」（五カ年計画）を策定いたしました。「商工会は、常に会員と接し会員の声を聴き、経営力を強化し持続的発展を支援するとともに、地元の振興・発展に貢献する。」を組織理念と掲げ、三つの「商工会づくり」を基本目標とし、それぞれの取組項目を実行することといたしました。また、十月には、「商工会富山県大会」を開催し、行動計画で定めた基本目標を着実に実行するよう行動することを、大会宣言といたしました。

そうした上で、地域に密着し、地域経済・社会・コミュニティを支えている小規模事業者が常に元気でいられるよう、経営発達支援計画を着実に進め、巡回訪問を通じた課題解決に取り組み、地域密着型支援の実践を通じ、事業者からの信頼獲得と存在価値の更なる向上に取り組んでまいります。

終わりに、商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が一層飛躍する年となり、明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

富山県知事
石井隆一

人が輝く「元気とやま」の創造を目指して

明けましておめでとうございます。令和二年の初春を皆様とともに寿ぎたいと存じます。

平成十六年十一月の知事就任以来、多くの県民の皆様のご支援とご支持をいただきながら、ふるさと富山県の発展と県民の皆様の幸せのために邁進してまいりました。

私の変わらぬ目標は、県民の皆様一人ひとりが夢と希望を持って、いきいきと働き暮らせる「元気な富山県」を創ることです。このため、タウンミーティングなどを通して幅広い県民の皆様のご意見をお聴きしながら、「活力」「未来」「安心」の三つの基本政策と、これらを支える「人づくり」に関する重要政策の推進に積極的に取り組んでいるところです。

昨年は、本県ゆかりの万葉集を典拠とする「令和」の時代が始まり、朝乃山関や八村選手が大活躍するなど、喜ばしい出来事が続き本県の注目度が一段と高まっています。

間もなく開業から五年を迎える北陸新幹線の乗車人員は、開業前の三倍近くの高い水準が続き、観光客の増加、企業立地の進展、Uターン率の向上、若い世代を中心とした本県への移住者の増加など様々な効果が現れています。

また、本県の強みを活かした最先端ものづくりの強化、農林水産業や観光の振興、移住・定住の促進など、産業経済や地域の活性化を図り、本県を大きく飛躍させる取組みが広がっています。

今後とも、さらなる飛躍・発展を目指し、県民の皆様の知恵と力を結集して、人が輝く「元気とやま」の創造に全力を尽くしてまいります。

新年にあたり、商工会の会員の皆様の県政に対するご理解とご協力をお願い申しあげますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。

ほくぎん
創業のツバサ
創業に関する
お役立ち情報満載!
今すぐチェック
⇓

www.hokugin.co.jp
北陸銀行

NAKATANI PRINTING
PLANNING DESIGN PRINTING
あなたの思い伝えたい。
株式会社なかたに印刷
〒939-2741富山市婦中町中名1554-23
TEL076-465-2341　FAX076-465-2340
http://www.nakatani-p.co.jp
日本印刷個人情報保護体制認定 JIPDEC

2020年 あけましておめでとうございます

富山県商工会連合会
会長 石澤義文
副会長 串田伸男
〃 藤井裕久
専務理事 上野和博
事務局長 黒川修

朝日町商工会
会長 大井裕久
副会長 氷見良章
〃 深松隆
事務局長 小林光義

入善町商工会
会長 藤井開
副会長 井田俊博
〃 中瀬淳哉
事務局長 本多光一

上市町商工会
会長 坂井穂悦
副会長 小森武次
〃 野崎晴文
事務局長 宮本晃

立山舟橋商工会
会長 吉川毅一
副会長 森﨑勝喜
〃 高平伸
事務局長 森井信雄

富山市南商工会
会長 若井英忠
副会長 茗原勉
〃 清水宏篤
筆頭理事 山本幸治
事務局長 高島正人

富山市八尾山田商工会
会長 井山泰樹
副会長 赤星光信
〃 武内清
筆頭理事 吉田忠正
事務局長 田代忠之

富山市北商工会
会長 田畑宏継
副会長 河合幸弘
〃 長木吉治
筆頭理事 岩城弘一
事務局長 谷崎達也

射水市商工会
会長 串田伸男
副会長 道古伸夫
〃 若林啓一
事務局長 武部賢昭

高岡市商工会
会長 上田久之
副会長 澤田誠一郎
〃 酒井善広
事務局長 橘宏之

小矢部市商工会
会長 新明政夫
副会長 府録弘之
〃 中嶋秀明
事務局長 舟木正敏

庄川町商工会
会長 飯田良榮
副会長 武田武美
〃 坂井彦就
事務局長 沼田正敏

南砺市商工会
会長 川合声一
副会長 川田征利
〃 岩崎弥一
事務局長 北清俊一

富山県商工同友会
会長 松坂稔
副会長 中田克宣
〃 武内清
〃 野村守

富山県商工会青年部連合会
会長 石本慎太郎
副会長 松井拓也
〃 寺本賢
〃 井上潤一
〃 芝井祐二

富山県商工会女性部連合会
会長 水口芳美
副会長 柚木美恵子
〃 大塚美眞子
〃 木村雅子
〃 坂井朱美

本年もよろしくお願いいたします

こたえていく。かなえていく。 北陸電力

ふれあいクラブ しんきん年金友の会
●信用金庫で年金振込の手続きをすると会員になれます。
●ふれあいクラブの加盟店で会員カードを提示すると割引サービスが受けられます。

Face to Face
この街と生きていく
SHINKIN 信用金庫
年金はやっぱり富山、高岡、新湊、にいかわ、氷見伏木、砺波、石動の各信用金庫で!!

働き方改革への対応を動画で紹介！

働き方改革への対応について、企業が取り組まなければいけない内容を簡単に動画で解説します。

●お問合せ先●
富山県商工会連合会
経営支援課

対談

富山県商工会連合会 会長
石澤義文

業者、地域を支える柱に
るい未来を～

石澤　新年明けましておめでとうございます。本日は、新春対談にご出席いただきありがとうございました。

森　あけましておめでとうございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

第Ⅱ期小規模企業振興基本計画の中で示された商工会の役割

石澤　商工会として組織をあげて取り組んだ小規模企業振興基本法が成立して五年半が経過しました。

昨年七月十六日に施行された中小企業強靭化法の中では中小企業の防災・減災対策の強化を行う為の基本方針が示されました。併せて小規模事業者支援法が改正され商工会は小規模事業者に対する事業継続力強化支援に取り組む姿勢が示されました。全国連の取組みをお聞かせください。

森　旧年は八月下旬に九州北部を襲った集中豪雨、九月から十月にかけての台風襲来など、多くの商工会地域が大規模な自然災害に見舞われました。度重なる災害に対し、国も復旧・復興に向けて取り組んでおり、「被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージ」も発表されました。その支援策が各地域に十分に行き渡り、被災された皆様が、一日も早く元どおりの事業や生活を取り戻せるよう、政府をはじめ、関係機関と連携を密にし、商工会組織をあげて引き続き支援を行ってまいります。

こうした中、商工会には事業者の「事業継続力強化計画」策定支援、商工会自身の「事業継続力強化支援計画」策定という新たな役割が加わりました。また、第Ⅱ期小規模企業振興基本計画には、「事業者の持続的発展と地域の持続的発展」の重要性が明記され、地域に根差し、中小・小規模事業者に寄り添う商工会の存在価値が、改めて認識されたと感じています。

まさに今、国が政策として実施していく内容は、商工会の活動を後押しするものです。

農商工連携の推進を目指す

石澤　当県連では農商工連携を一層進めるため、商工会・JA・県の三者が連携し新しい事業創出の推進を目指しております。昨年十二月に農商工連携フォーラムを開催し事業推進に向けて決意を新たにしたところです。先進的な取り組みを行っておられる森会長の地元、鹿児島での事例をご紹介いただければと思います。

森　鹿児島県連では「地域の魅力を発信していくために、他の商工団体との連携を強化させたい」との考えで、農業や漁業、林業などの生産者団体と連携し、各地の特産品を通じた地域の魅力を国内外に発信していく取り組みを行っています。すでに県内の農業関連団体を統括するJAグループ鹿児島（JA鹿児島県経済連グループ）と二〇一六年三月に包括連携協定を結び、相互に推奨する商品を選定して、双方の会員企業を通じて販売する「JA・商工会推奨品販路開拓事業」を進めております。

新春

全国商工会連合会 会長
森　　義久氏

商工会は中小・小規模事業者に寄り添った支援体制を目指して

石澤　全国各地の商工会の現況を取りまとめていただいていますが、各地域の商工会の生の声を聞いて〝新年の抱負〟をお聞かせください。

森　本年は、商工会法施行六十周年の節目の年となります。商工会の支援により中小・小規模事業者がどのような経営改善を果たし、その効果がどのように地域経済へ波及しているかなど、支援の成果が問われてまいります。社会的課題や制度面への対応なども含め、「指導」からきめ細やかな「伴走支援」へと支援の形も変化しております。全国連会長に就任して以降、全国各地に足を運び、国に対する要望をはじめ、地域課題、さらには商工会の今後のあり方など、未来を見据えて様々なことについて意見交換を続けていきたいと思います。

石澤　富山県としては、事業者に寄り添った支援体制を強化するため職員の資質向上を図ることが課題であると捉えています。組織をあげて小規模事業者の経営支援、地域経済の振興に取り組んでいくことが大変重要であります。また、先ほどお話ししました農商工連携への取組支援、そして事業承継支援等にも職員が専門家と連携を取りながら進めていきたいと考えております。

森　職員は経営発達支援事業や様々な補助金の支援等で業務が多様化しており、限られた予算・人員で十分な支援ができるよう、組織体制を改めて見つめ直すことも必要であると考えております。中小・小規模事業者は景気悪化の影響をもっとも受けやすい一方で、景気回復の実感は得にくいため、中小・小規模事業者こそが国の支援施策を享受する必要があります。また、中小・小規模事業者の活力が日本経済の成長につながることは多くの方が意見を一にするところです。

私も「会員あっての商工会」の信念のもと、各地に足を運び、現地の声に耳を傾け、全国一〇〇万会員、一六五二商工会の声をひとつに、全国商工会連合会会長としての責務を果たすべく邁進いたしますので、引き続き皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

石澤　本日はお忙しい中、貴重なお話をいただきありがとうございました。今後のご活躍を心より祈念申し上げ、対談の結びとさせていただきます。

全国商工会連合会　会長
森　　義久（もり　よしひさ）

経歴

2006年から鹿児島県商工連合会会長、
2015年全国商工連合会副会長、2018年
全国商工会連合会会長就任
鹿児島県鹿屋市出身

知っ得こ 税務編

消費税の改正点　その4　申告書作成の勘どころ　第4回

消費税申告書の作成（個人事業）
税率ごとに区分して作成

消費税の課税標準額は、売上等の課税資産の譲渡等の対価の額で、これに税率を掛けて消費税額を求め、ここから仕入等に係る控除対象仕入税額を控除して、消費税の納税額を計算します。

簡易課税制度を選択している者は、課税標準額から求めた消費税額に、一定のみなし仕入率から求めた控除対象仕入税額を控除して、納税額を計算します。

令和元年分の個人事業者の消費税申告書は、消費税付表を使用して九月までの旧税率（六・三％）と十月からの新税率（七・八％）の三区分に分けて計算し記載をすることになり、複雑化しています。

書き方の要旨
一般課税（原則課税）

九月までの旧税率（六・三％）の課税標準額と消費税額を付表一―二の上部に記載してから付表一―一の上部に転記します。十月からの新税率（七・八％）と軽減税率（六・二四％）の課税標準額と消費税額は付表一―一の上部に記載します。

九月までの課税仕入の支払対価の額（税込）は付表二―二の中程に記載してから付表二―一の中程に転記します。十月からの課税仕入の支払対価の額（税込）は付表二―一の中程に記載します。次に、課税売上割合等を考慮して各々の課税仕入に係る消費税額を付表二―一中程で計算してから付表一―一中程にも転記します。各付表では区分の合計や差引税額等も計算して記載します。

それから、新たに追加された申告書第二表で、課税標準額と消費税額の内訳を税率ごとに付表一―一及び一―二から転記します。

最後に、申告書第一表を、第二表及び付表一―一、二―一から転記して作成終了です。

地方消費税の計算では付表の記載も必要ですが、新税率では消費税額の七八分の二二の割合（旧税率は六三分の一七の割合）での負担となっており、国税の消費税額と合わせて納付します。

簡易課税の場合

九月までの旧税率（六・三％）の課税標準額と消費税額を付表四―二の上部に記載してから付表四―一の上部に転記します。十月からの新税率（七・八％）と軽減税率（六・二四％）の課税標準額と消費税額は付表四―一の上部に記載します。

控除対象仕入税額の計算をするために、九月までの旧税率は付表五―二で、十月以降の新税率と軽減税率は付表五―一で計算します。控除税額は、事業区分別に第一種事業から第六種事業に分かれており、かつ二種類以上の事業区分があるときは特例計算を適用することもできるので、付表五―一又は五―二の計算式区分に従い、選択可能な有利な金額を求めてください。そして、ここで求めた控除対象仕入税額を付表四―一中程に転記します。各付表では区分の合計や差引税額等も計算して記載します。

あとは、一般課税と同様に申告書第二表で、課税標準額と消費税額の内訳を税率ごとに付表四―一及び四―二から転記し、最後に申告書第一表を、第二表及び付表四―一から転記して作成します。地方消費税は一般課税と同じです。

さらに続く改正

令和五年十月一日よりインボイス制度（適格請求書等保存制度）へ移行します。

これは、税務署に登録した適格請求書発行事業者が交付する適格請求書の保存が仕入税額控除の要件となる制度です。

これによって、仕入税額控除の範囲が狭められるため税率が変わらなくても事業者の納税額が増え、ひいては国の税収が増加することが想定されます。

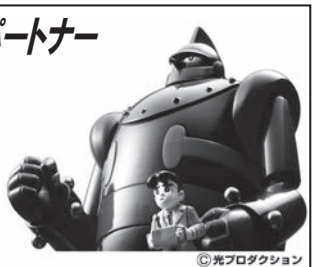
菅原税理士事務所
税理士　**菅原　昌仁**

早稲田大学社会科学部卒業後
富山県商工会連合会にて専門経営指導員等として勤務。
平成７年税理士登録。
現在、富山市内において税理士事務所開設し、法人税、相続税等の業務に従事。
AI（人工知能）による自動記帳を推進している。

中小企業を支える身近なパートナー

中小企業・小規模事業者のみなさまを
信用保証 でサポートします！

創業支援、資金調達、経営改善、事業承継など
お気軽にご相談ください



富山県信用保証協会
TEL：(076)423-3171（代表）　www.cgc-toyama.or.jp

企業の繁栄に　特別増強運動展開中！
商工貯蓄共済制度
ひとつの掛金で３つの備え
貯蓄 ＋ 融資 ＋ 生命保障
● お申し込み・お問い合わせは地元の商工会へ ●

富山県商工同友会セミナー開催

十一月二十七日、砺波市庄川町の鳥越の宿三楽園において、令和元年度富山県商工同友会セミナーが開催され、県内の商工同友会員四十六名が参加した。

セミナー講師には、ＢＲＩＣｓ経済研究所代表でテレビ番組の出演も多い門倉貴史氏を招き、「日本経済の展望と企業戦略～アベノミクスと中小企業の行方～」と題して講演を頂いた。

門倉氏は、海外注目国の経済状況による日本経済の影響や、今年開催される東京五輪の経済効果などについて説明。また、東京五輪後の経済予測と合わせ、内閣府が掲げるクールジャパン戦略についても取り上げ、「海外に日本をクールに捉えてもらうために、日本製品を海外に多く売ることで、日本のブランドのイメージアップを図ることが重要」と強調した。

セミナー終了後には、参加者による懇親会も開催され、会員同士の交流を深めた。

2月 各地のイベント

イベント名	開催日	お問合せ先	
牛岳スノーフェスタ	2/1(土)	牛岳温泉スキーセンター	076-457-2044
とやま鍋自慢大会 2020	2/1(土)～2/2(日)	とやま鍋自慢大会 2020 事務局（立山グリーンパーク吉峰内）	076-483-2828
四季の五箇山 雪あかり「世界遺産 菅沼合掌造り集落ライトアップ」	2/1(土)～2/2(日)	四季の五箇山実行委員会	0763-67-3750
越中おわら 風の盆ステージ	2/8(土)・2/22(土)	越中八尾観光協会	076-454-5138
第 33 回剱岳雪のフェスティバル	2/11(火・祝)	上市町観光協会	076-472-1515
相倉合掌造り集落ライトアップ「雪原に浮かぶ日本の原風景」	2/15(土)～2/16(日)	五箇山総合案内所	0763-66-2468
OS 人狼大会 IN める・びる	2/16(日)	小矢部市商工会青年部	0766-67-0756
越中八尾冬浪漫	2/22(土)	越中八尾観光協会	076-454-5138
入善ラーメンまつり	2/22(土)～2/23(日)	入善町商工会	0765-72-0163
世界遺産五箇山 菅沼合掌造り集落ライトアップ	2/22(土)・2/29(土)	五箇山総合案内所	0763-66-2468
ママが笑顔になれる体験＆ミニセミナー	2/24(月・祝)	小矢部市商工会女性部	0766-67-0756
じょうはなつごもり大市	2/29(土)	協同組合 城端西町商店会	0763-62-0309

令和2年度 富山県商工会 職員募集

採用時期及び人員　**令和２年４月１日　若干名**
勤務場所　富山県内の商工会又は商工会連合会
応募資格　高等学校以上を卒業もしくは卒業見込みの方で、令和２年４月１日現在の年齢が満35歳以下の方
受付期間　**１月 24 日（金）まで（当日消印有効）**
試 験 日　**＜第１次試験＞ ２月 ８ 日（土）筆記試験（一般教養・適性検査）、面接試験**
＜第２次試験＞ ２月 22 日（土）役員面接試験（第１次試験合格者）
受験手続　申込書に必要書類を添えて、富山県商工会人事管理委員会事務局（商工会連合会内）へ郵送
＊詳しくは、下記の富山県商工会連合会ＨＰをご参照ください。
https://www.shokoren-toyama.or.jp/

富山県商工ビジネス研究会「先進企業視察研修会」開催

富山県商工ビジネス研究会（会長　渡辺　隆）は十月二十五日に株式会社内山精工（代表取締役社長　内山彰博氏）を訪問し企業視察研修会を開催した。

同社は軸受の旋削を中心とした機械加工、自動車部品、その他機械要素部品の旋削加工を手掛けている。平成三十年十月に竣工した新工場を見学し、作業工程管理体制や、従業員が働きやすい職場づくりの取り組み方法の説明を受けた。

内山社長の説明を熱心に聞き入る会員

会社のイメージカラーである「緑」は『成長しつづける企業を目指して緑が育む〝若さ〟と〝成長〟と〝調和〟の企業』をコンセプトとしている。従業員から年間六〇〇件以上提出される改善提案を受け、約八割を実践に繋げる事で社内のやる気を高めている。工場内では、作業工程の進捗状況管理にタブレットを導入し業務の効率化を図っており、取り組み状況を見学した。

内山社長は今後の意気込みとして、明るく働きがいのある職場づくりを行い、価値ある製品の提供を通して、社会に貢献していきたいと話された。

現場での進捗状況管理の仕組みを見学

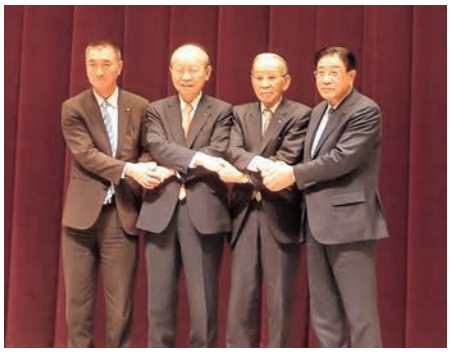
「とやま農商工連携フォーラム」が盛況に開催される！

十二月五日、ボルファートとやまで富山の農商工連携に取り組む事業者が一堂に会するフォーラムを開催し、一三〇名の来場者で賑わった。

このフォーラムは、県と県連合会、JA富山中央会が農商工連携の強化を目指して初めて開催したもので、県下十二商工会地区等から農林漁業者、中小企業者併せて一三〇名が参加した。

今年度、県からの事業受託により県連合会は、経営相談会や専門家派遣事業を実施し、これに続く今回は、県、JA富山中央会、（公財）富山県新世紀産業機構、（独）中小企業基盤整備機構北陸本部等関係機関と連携し、農商工連携の魅力を再発見し、交流の促進に繋げるものとした。

第一部のオープニングでは、石井県知事、石澤県連合会長、山瀬JA富山中央会専務理事、中川県議会議長が挨拶。石澤県連合会長は「地方創生に向けた農商工連携の機運が全国で高まっている。商工会においては、鹿児島・山梨・岩手等がいち早く取り組んでおり、本県も三者間連携を強化し、地域産業の発展につなげたい。参加者はこのフォーラムを機に理解を深め事業発展を目指していただきたい」と挨拶し、セレモニーが和やかに催された。



農商工連携推進セレモニーの様子

続いて、食環境ジャーナリスト・地域活性化伝道師の金丸弘美氏により「農商工連携で地域力を高めよう！」をテーマにセミナーを開催。金丸氏は、全国の商品開発やPRの取り組みを紹介し、「ニーズを的確に把握した商品開発が重要」と述べられた。その後、事例発表・パネルディスカッションを開催。中小機構北陸本部新事業創出チーフアドバイザーの津田均氏をモデレータに、六名のパネリストが登壇し、活発な意見交換が行われた。

第二部ではマッチング商談会を開催。十二事業者が「事業者PRコーナー」に出展し、自社の開発した新商品を積極的にPRした他、名刺交換会や商談会、富山県よろず支援拠点・中小機構北陸本部等と連携した経営相談会も併催した。

商談会では積極的な商品PRが行われた